

た い や ま

【学校教育目標】
『心身ともにたくましく
人間性豊かな児童の育成』

交通安全街頭指導 ありがとうございました!



要注意!

4 月 4 日、7 日、PTA 健全育成部やスクールガードの皆さんの協力を得て登校時の交通安全指導を行いました。

職員も 8 日、9 日に「げんき坂」、「鼻館」、「田中」、「板橋」、「校門」の 5 カ所に立ち、子どもたちの登校の様子を見守りながら道路の横断の仕方や安全な歩行について指導しました。その様子は、朝の職員打ち合わせで報告し、すぐに子どもたちの指導に生かしています。

子どもたちの登校時の様子は良い状況ですが、注意を要する事例として次のようなことがあげられますので、ご家庭でも折に触れ声かけをお願いします。

- 1 横断しながらの左右確認 (渡り始める前に安全確認をしていない)
- 2 複数で横断するときに、安全確認を自分でしていない。(人まかせ)
- 3 横に広がって歩いている。(車と接触する危険性が大きい)
- 4 坂道を走る。(低学年。転ぶと車道に出る危険あり)

年度初めは特に交通安全に関わる集中した取り組みを行っていますが、1 年を通じて「注意一秒、けが一生」の意識を持たせ、交通ルールやマナーを身につけ、交通事故から自分を守る子どもに育てていきたいと思えます。

お願い



(1) 玄関前の駐車について

児童の安全、業者の出入り、来賓の駐車、緊急車両の出入りなどを考慮して、体調を崩したお子さんを迎えに来るなどの緊急時や学校行事で許可した場合を除き、玄関先(校舎前土の部分)での乗降及び駐車をご遠慮願います。 ご不便をおかけしますがご協力をお願いいたします。

(2) 平山坂の走行について

平山坂は道幅が狭く、対向車両とのすれ違いに注意が必要ですし、児童が登下校で路肩を歩いたり、道路を横断したりします。また、小さな子どもは飛び出しなど予測できない行動をとることも考えられます。どうぞ、走行スピードを落とし、安全に十分気をつけて走行するようお願いします。

避難訓練

9 日(水)、大地震発生を想定した避難訓練を行いました。避難放送から全員の安否確認まで 3 分で完了。ふざける様子もなくとても立派でした。

揺れているときには、机下に隠れるなど頭を守ること、外では落下物やブロック塀に気をつけること、校舎から避難するときには、「おかしも」(おさない、かけない、しゃべらない、もどらない)を守ることなどを話しました。津波に備えて、あらかじめ逃げ場所(高いところ)や避難場所を決めておいてください。

平山小 H26「まなびフェスト」

今年度も「まなびフェスト」の取り組みを行います。昨年度と同様の内容ですが、「家庭では」の6項目についてご協力をお願いします。

生き生き平山っ子

「進んで学び続ける子」(知)

- 「読み・書き・計算」の力をつけます。
 - 国語の教科書をすらすら読めるようにします。
 - 漢字テストで90点以上とります。
 - 計算テストで90点以上とります。
- 「聞く力」をつけます。
 - 話が終わるまで、黙って聞きます。
 - 感想や意見を持ちます。
- 「話す力」をつけます。
 - 授業中進んで発言します。
 - 自分の考えや感想を、最後まで発表します。
- 家庭学習の時間の目標をめざし、毎日テレビなどを消して勉強します。

1年生 10分以上	2年生 20分以上
3年生 30分以上	4年生 40分以上
5年生 50分以上	6年生 60分以上

「思いやりをもち、進んで助け合う子」(徳)

- 学校でも家でも10分間、読書をしします。年間読書冊数達成をめざし、読書をしします。
 - 低学年 120冊以上(40, 60, 20冊)
 - 中学年 100冊以上(30, 50, 20冊)
 - 高学年 50冊以上(15, 25, 10冊)
- ていねいなあいさつをしします。
- 縦割り班で、協力してなかよく活動しします。
- 正しい廊下歩行をしします。

「健康でたくましい子」(体)

- 早寝、早起きをしします。
 - ※ 就寝時刻 1, 2年・・・9時
3, 4年・・・9時半
5, 6年・・・10時
 - ※ 朝ごはんを食べて登校
- 業間時間にいろいろな運動をしします。
 - なわとび
 - マラソン
 - ダンス
- 毎日、歩いて登下校をしします。
- 起立、着席の姿勢を正しくしします。
- 給食を好き嫌いないで食べます。

学校では

- | | | | |
|--------------------|--------------------------|---------------------|--------------------------|
| 1 音読や漢字・計算練習をさせます。 | <input type="checkbox"/> | 6 縦割り班でなかよく活動させます。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 話を最後まで聞かせます。 | <input type="checkbox"/> | 7 正しい廊下歩行をさせます。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 自分の考えをはっきり話させます。 | <input type="checkbox"/> | 8 外遊びやいろいろな運動をさせます。 | <input type="checkbox"/> |
| 4 毎朝10分間、読書をさせます。 | <input type="checkbox"/> | 9 給食を好き嫌いないで食べさせます。 | <input type="checkbox"/> |
| 5 すすんで挨拶させます。 | <input type="checkbox"/> | 10 学習時間の姿勢をよくさせます。 | <input type="checkbox"/> |

家庭では

- 家庭学習の環境を整えます(テレビを消す等)。
- 家庭学習の様子を見て、励ましたり、ほめたりしします。
- 毎日10分間の読書時間を確保しします。
- 挨拶(起床、就寝、食事の前後等)をしっかりさせます。
- 就寝時刻を守らせます。
- 毎日歩いて登下校させます。

ある朝の“ひとコマ”



何にでも好奇心旺盛なY君は、登校時間もマイペースで道草を食いながら学校来るので、時々、スクールガードさんが「Y君、もう学校に来ましたか？」

と心配されます。でも、この日はいつもより早く登校し、校門のところで竹箒で掃除している私を見つけると、やおらランドセルを傍らに置き、「僕も手伝います！」と宣言し、小屋から自分の背丈以上もある箒を持ちだし、地面を掃き出しました。車の危険がないように場所を決めて、散らばっている小枝を掃き集めてもらいました。適当な時間に、「そろそろやめようか。手伝ってくれて、ありがとね。」と言うと、「よろこんでもらえると、ボクもうれしい。」とボソッと小声で応えてくれました。

ハッと、気づいたのは、小さな子であっても自分が人の役に立ったり、あてにされたり、感謝されることはうれしいことなんだ、ということです。この気持ちを難しい言葉で表現すると、「自己有用感」というのでしょうか。家庭でも、子どもに小さなことを任せて頼りにしてみたいかがでしょうか。